第9次行財政検討審議会答申(案)
パブリックコメントの要旨及び答申への反映について

「方向性」について
◎:答申への反映を行うもの
○:意見の趣旨がすでに記載されていると判断するもの
△:答申への反映を検討する内容ではないと判断するもの

意見の内訳:11件(2人)

No.	関連個所	意見趣旨	答申への反映	
			方向性	考え方
1	本市のまちづくりの将来像	総合計画と行財政改革について、策定期間及び検証の時期を整合させ、相互に連動させることで、それぞれの計画の実効性を高めるべき。	○	答申案では、今後策定される新たな総合計画と第9次行財政改革について、基本的な方向性を共有し、双方の取組を連動させながら、政策、予算、組織及び人員などを一体的に捉えて推進することを求めています。このため、ご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
2	スクラップ&ビルドの推進	既存事業の継続的な検証を行うという考え方に賛同する。一方で、評価結果を予算や人員などの行政資源の再配分にどうつなげるか具体的な仕組みが必要である。評価が目的とならないよう、「評価→判断→資源の再配分→実行→再評価」のサイクルを明確にすべき。	○	答申案では、スクラップ&ビルドについて、社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえて既存事業を継続的に検証し、行政資源の配分を見直す取組として推進すべきとしています。また、既存事業について、目的、市民ニーズ、利用状況及び成果を踏まえて検証し、廃止、縮小、統合又は実施方法の見直しを進めることを求めています。このため、評価結果を行政資源の再配分につなげるべきとのご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
3	スクラップ&ビルドの推進	市として特に重点的に取り組む政策を明確にするとともに、施策の効果や市民の実感を把握し、分かりやすく示すべき。	○	答申案では、子育て、教育、医療、健康福祉及び地域経済など、将来への投資となる施策について、その効果を中長期的な視点から捉え、優先順位を明確にした上で重点的に推進することを求めています。また、取組の成果を継続的に確認し、分かりやすい指標により進捗を確認しながら改善につなげるとともに、市民と共有していくことを求めています。このため、ご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
4	スクラップ&ビルドの推進	自主財源の確保・拡大に向け、将来の歳入確保につながる施策を進め、市財政の改善につなげるべき。	○	答申案では、新たな施策を創造する際には、短期的な政策効果だけでなく、人口定着、将来の歳入確保及び行政需要の抑制等につながる効果についても考慮する必要があるとしています。また、財政運営に当たっては、限られた行政資源を将来のまちづくりに必要な分野へ重点的に再配分していくことが重要であるとしています。このため、ご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
5	行政DXの推進	デジタル技術活用による業務時間短縮や人件費削減の方向性に賛同する。導入そのものを成果とするのではなく、導入効果を定量的に把握し、削減された時間が政策立案や市民対応などにどの程度振り向けられたかを確認する仕組みを構築すべき。	○	答申案では、デジタル化を進めるに当たり、既存の業務をそのままデジタル化するのではなく、業務の必要性や手順を見直し、廃止、簡素化、統合及び自動化を検討することを求めています。また、デジタル化により生み出された時間は、政策立案、市民対応その他、人が担うべき業務に振り向けることを求めています。このため、導入効果を把握し、業務の見直しや人が担うべき業務への時間の振替につなげるべきとのご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
6	人材マネジメントの推進	人材ポートフォリオの構築や適切な配置・育成の考え方は重要である。人材マネジメントの成果として、職員個人の能力向上だけではなく、業務処理時間の短縮や市民サービス向上など、組織としての成果を把握する指標を設定し、継続的に検証する仕組みを検討すべき。	○	答申案では、職員一人ひとりの能力、経験、専門性及び意欲を最大限に生かし、限られた人員で組織力を高めていく人材マネジメントを進める必要があるとしています。また、職員のエンゲージメントを高めることは、職員の能力発揮、組織力の向上及び市民サービスの質の向上につながるとしています。このため、人材マネジメントについて、職員個人の能力向上にとどまらず、組織としての成果や市民サービスの向上につなげるべきとのご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
7	人材マネジメントの推進	施策の立案及び遂行に当たっては、内製化を進めるなど、職員の力を最大限に生かし、職員が意欲と能力を発揮できる組織づくりを進めるべき。	○	答申案では、職員が能力や意欲を発揮できるよう、責任や役割に応じた適切な権限を付与し、挑戦や改善提案を後押しする職場環境を整えることを求めています。また、DXをはじめとする業務改革については、各職場で改革を担う職員を計画的に育成し、その取組を組織全体へ広げることを求めています。このため、職員の力を生かし、職員が意欲と能力を発揮できる組織づくりを進めるべきとのご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
8	むすびに	重点的取組の明確化や分かりやすい指標での進捗確認、市民との共有の考え方は重要である。実効性を高めるため、結果として何がどの程度改善されたのかを毎年度公表し、「計画→実行→評価→改善」のサイクルを継続して、進捗と成果を市民と共有する仕組みを明確に位置付けることを提案する。	○	答申案では、改革の策定後も取組の成果を継続的に確認し、改善を重ねていくことが重要であるとしています。その上で、重点的な取組を明確にし、分かりやすい指標により進捗を確認しながら改善につなげるとともに、市の取組や現状について幅広く周知することで、市民と共有していくことを求めています。このため、進捗及び成果を継続的に確認し、市民と共有する仕組みを明確にすべきとのご意見の趣旨は、本答申に既に含まれていると判断いたします。
9	その他	大規模データセンターの誘致や高速インターチェンジの新設などの機会を企業誘致に生かすべき。	△	本答申は、行財政改革の基本的な考え方及び方策を示すものであり、個別の企業誘致施策や立地活用の手法等を示すものではありません。このため、答申への反映を検討する内容ではないと判断いたします。
10	その他	男山地区・中央小学校区において、子ども・子育て施設の配置、教育環境の充実、学童保育及び学習支援、住民同士の交流による子育て支援などを一体的に進め、子育てにやさしいまちづくりを推進すべき。	△	本答申は、行財政改革の基本的な考え方及び方策を示すものであり、個別地域における具体的な施策の内容や実施方法までを示すものではありません。このため、答申への反映を検討する内容ではないと判断いたします。
11	その他	男山地区において、容積率の変更、団地エリアの再構成、賃貸住宅の再築、分譲住宅の建替え促進、世代混住及びコンパクトシティの実現を進めるべき。	△	本答申は、行財政改革の基本的な考え方及び方策を示すものであり、個別地域における土地利用や住宅整備の具体的な内容までは対象としていません。このため、答申への反映を検討する内容ではないと判断いたします。